



発行所 秋田県合川町役場 編集責任者(広報係)松橋新一 電話4番 [発行部数2,700]

13日告示、投票は20日

町長選挙 町議補選の日程きままる

町選挙管理委員会(委員長 木村貫一)は、十一月二十五日午後二時から役場会議室で開かれ、任期満了にともなう町長選挙ならびに町議会議員の補欠選挙の日程を、十二月十三日告示、同月二十日投票、即日開票とすることに決めた。

町長選挙は記号式投票

現島山義郎町長の任期は、なうことになった。来年一月十八日までとなっているが、任期満了による町長選挙は、その任期満了前三十日以内に行なうことになっており、町選挙管理委員会は、十一月二十五日に行なわれた町長選挙の結果、投票日を十二月二十日即日開票とされたこと、開票時間が大幅に短縮されたことなどの優遇を受けて、この町長選挙に記号式投票を採用することになり、十一月二十五日に行なわれた町長選挙でもこの記号式投票が採用されることになったものである。

選挙の日程

町選挙管理委員会(委員長 木村貫一)は、十一月二十五日午後二時から役場会議室で開かれ、任期満了にともなう町長選挙ならびに町議会議員の補欠選挙の日程を、十二月十三日告示、同月二十日投票、即日開票とすることに決めた。

共同募金目標額達成!!

目標額 二四八、五〇〇円
達成額 二七三、二六三円

皆さんのあたたかい心づくしに感謝します。

合川町共同募金会

○16日(金) 立候補届出期限、投票用紙の印刷順序のくじ、氏名掲示の掲載順序のくじ、立会演説会開催のくじ、無投票の場合投票管理者に通知又はその旨の告示。

○17日(土) 選挙立会人届出期限。

○18日(日) 立会演説会の実施、選挙立会人のくじ開催のくじ、投票、選挙会当選者の告示、告知。

1月4日(水) 選挙運動の開始、収支報告書提出期限。

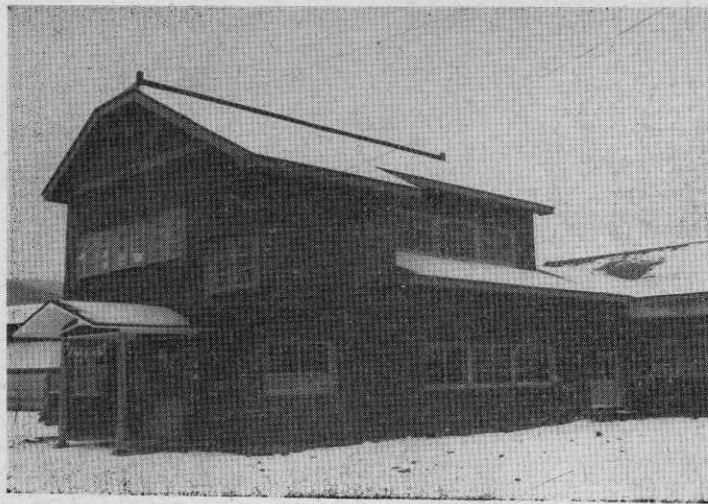
福祉活動のセンター 木戸石の児童館完工

木戸石児童館は、北小学校前の元北出張所と地一七八平方メートルの二階建て(一部は平屋建)の堂々たるものである。

遊戯室、図書室、保健室、調理用具一式を完備した調理室、それにもまして純白のスクリーンが設けられた七四平方メートルの大講堂が同館の特色である。

同館は県補助のもとに三百七十九万七千円をもって地元の佐藤勇さんらによって施工されたもので、去る十一月二十七日盛大な落成式が行なわれたが、恵れた施設のもとに部落公民館としても併用される同館は地域の福祉活動のセンターとして大きな期待が寄せられている。

【見事にできあがった木戸石児童館】



鎌沢に簡易水道 消火栓も併設

鎌沢部落(委員長 福田宮松)に簡易水道が施設されることになり、山岡施設工業KKによって工事がすすみ、給水がはじまっている。

水道事業は、部落から二、五キロ離れた務沢地内に水源地を求め、四十メートルの落差を利用して九十六戸(四百五十八人)に給水するほか、九基の消火栓を設け、火災にも備えることになっている。

このような大規模の簡易水道は本町では羽根山に次いで二番目のもので、本工事の総事業費は七百四十万四千円、国庫補助事業である。

成人式を繰上げ

恒例の成人式が一月六日に行なわれることになった例年、成人の日にあたる一月十五日に開催されていたが、故郷を離れて出稼ぎをしている人、あるいは就職して人たちが皆んなで参加できるようにと、正月六日に決まったものです。

こんど成人になられる皆さんには改めてご通知しますが、一月六日に変更になりましたことを成人式参加者からお知らせさせていただきます。

秋の農繁期をおえると春先までの農閑期を利用し、出かせぎ者が年々増えています。町では今年から出かせぎされる皆さんへ出かせぎ連絡費として千円を支給しております。 町では出かせぎされる方が安心して職場で心おきなく働けるように、また出かせぎに行きつづかせるため、この「社会福祉宣言の

秋田ライフルマン 社員募集

本町の誘致工場として来春四月、操業開始される秋田ライフルマン社が社員募集をしています。その募集要綱は次のとおりです。

- ① 募集人員 130人
- ② 採用条件 昭和三十八年以後、高校、洋裁学校、中学を卒業又は昭和四十二年三月卒業予定の女子で身体強健、思想堅固にして人物成績優秀な者。
- ③ 給与 ① 初任給 高校、洋裁学校卒 113,550円 中学卒 111,300円
- ④ 昇給 原則として年一回 年二回(八月、十二月)
- ⑤ 賞与 年二回(八月、十二月) 月額五〇〇円まで会社負担
- ⑥ 退職金 三年以上勤続して退職される場合規定の退職金を支給

勤務時間 就業時間 午前八時〜午後五時 四十五分

⑦ 休憩 正午に五十分、午後三時に十分

⑧ 休日 日曜、年末、年始、お盆

⑨ 休暇 年次有給休暇、慶弔休暇、一般休暇、公務休暇

⑩ 半休 土曜日半日就業

⑪ 申込先 大館公共職業安定所鷹巣出張所

⑫ その他 詳細は合川町役場総務課又は安定所に問い合わせください。

成人記念 生活作文募集

昭和四十二年の成人式は正月早々の一月六日に開催されることになったが、公民館では今回の成人式参加者から次の要領で生活作文を募集することになったので多数ご応募ください。

要領

- 一、題 成人となった意義を象徴するものであれば題は自由である。
- 二、作品 生活記録的な作文、四百字づつ原稿用紙五枚以内とする。
- 三、締切り 十二月二十八日正午まで。
- 四、送り先 合川町教育委員会内公民館事務局
- 五、審査 審査員は町長、公民館長、教育長、連合青年会長の四名とし、入選三点以内、佳作五点以内を決定
- 六、発表 一月六日成人式当日会場で行なうとともに入選作品を広報あいかわに掲載する
- 七、褒賞 入選作品には賞状と記念品、佳作には記念品を贈呈
- 八、その他 原稿はお返ししません。入選者は成人式場で発表させていただきます。

合川町公民館

ご厚志に感謝

社会福祉協議会 藤島長蔵さん(木戸石)

恒例の成人式が一月六日に行なわれることになった例年、成人の日にあたる一月十五日に開催されていたが、故郷を離れて出稼ぎをしている人、あるいは就職して人たちが皆んなで参加できるようにと、正月六日に決まったものです。

こんど成人になられる皆さんには改めてご通知しますが、一月六日に変更になりましたことを成人式参加者からお知らせさせていただきます。

連絡費千円を支給

「出かせぎ相談所」

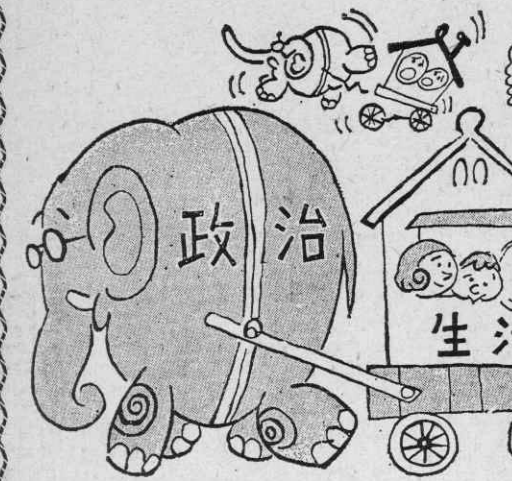
秋の農繁期をおえると春先までの農閑期を利用し、出かせぎ者が年々増えています。町では今年から出かせぎされる皆さんへ出かせぎ連絡費として千円を支給しております。

町では出かせぎされる方が安心して職場で心おきなく働けるように、また出かせぎに行きつづかせるため、この「社会福祉宣言の

町政メモ

- 11月2日 タイフルマン社社員採用面接
- 4日 秋の防火週間開始
- 9日 防火座談会開かれる
- 14日 臨時町議会招集される
- 17日 葉たばこ総代会 鎌沢簡易水道入札
- 18日 交通安全協会合川支部役員会
- 19日 タイフルマン社員一行十八人本社へ出発
- 21日 養鶏農家講習会
- 22日 公民館職員会議、結核予防婦人会地区長会議
- 25日 選挙管理委員会
- 28日 農業委員会
- 29日 農業あつぎの会
- 30日 民生委員協議会
- 42日 県民手帳実費頒布

昭和四十二年秋田県民手帳を無料で頒布しております。購入希望の方は至急役場内総務課統計係まで申込みください。一冊百円です。



明るく正しい選挙

〇わたくしたちの暮らしは政治によって左右され、わたくしたちの一票一票が政治のもとになります。

〇明るく正しい一票一票が明るく正しい社会をつくり、明るく楽しい豊かな生活をかちえることになります。

合川町選挙管理委員会
明るく正しい選挙推進協議会

本町農業の問題点

農業の立地と諸条件

①農家数と人口
農家数は一、六八〇戸で、全町戸数の七五割を占め、本町の産業の農業の位置づけを明確にしている。農家一戸当りの人口は五・三人で耕地面積は一戸平均二畝以下が九〇割を占める零細規模である。

②労働力
労働力は国を挙げての一般の傾向であるが、青少年層の都市流動と経営主、壮年層などの出稼などで激減し、家族労働力は、婦人と老人の手に委ねられ、過重労働と生産性の低下の傾向が示している。とくに注意を要することは、後継者の問題で、中、高卒等の就職状況の経緯からしてこのまま推移するとすれば、農家の後継者は三分の一に減少することになる。耕地の規模拡大の観点からすれば好ましいことであるが、都市流動のムードに押し流されて、農業を現に実践していく青年への悪影響が懸念される。

③耕地
耕地は一戸当り水田六九畝、畑三三畝で合計一・〇二畝を過ぎず零細農家が九〇割を占めている。一方においては零細規模に落担しながら、足元には大野台という平坦地に、山林一、三〇〇畝、原野未利用地一、七〇〇畝、畑八〇〇畝と実四、二〇〇畝に及ぶ広大な資源が眠っていることに留意しない。物的資源ばかりではないのである。人的資源に乏しいことを自覚しなければならぬ。

いや幾度か開発の手が差のべられてきたが、政治的感情的諸原因に左右されて目の前に宝の持腐れの感が深い。大野台を開発する者は、合川町を開発する者、大野台を開発なくしては、合川町の農民の画期的増大を期す場所と方法は他に考

えられない。

④資本装備
農業の所得構造を見ると一戸当り三一九、一三八円、秋田県平均の四五六、〇〇〇円の七〇割と低値である。従ってその他の資本構成は容易に推察できるところで、全般的に貧弱である。消費の波に任せられ、消費経済に追いつけないうる出稼を余儀なくされていので農業経営の改善によって消費経済を充足し尙経済余剰を産出しなければならぬ。

⑤生産力
水稲の反収は四四八キログラム、陸稲は二四九キログラム、馬鈴薯は一八五キログラム、大豆は四七キログラム、小豆一五八キログラムである。水稲と馬鈴薯は平均程度を維持しているが、大豆、小豆、陸稲の反収は著しく低い。作物の種類改善と肥培管理について一段の努力が払われなければならぬ。稲作収入は安定してよいが、一戸当りの栽培面積が零細なために稲作収入だけでは不十分である。畑作に五戸の煙草栽培があつて年間一戸平均三〇万位の粗収入を得ているが、煙草作は労働力を多く要するので、他の作物との意合が激しく、他の作物の成長を阻む原因となつてい

る。畑作目の生産方式とその作目の種類については、根本から検討を要する点である。

畜産は何れも賑わない。乳牛は三八戸で一三頭、一戸平均三・三頭、主として大野台の開拓地に飼養されているが、多頭飼育で酪農に完全に切替えていく農家は概して成功率が高い。豚は二八戸で六三〇頭飼育され、一戸平均二・二頭と極めて零細である。鶏は一、二四八戸で平均一三羽で生産性は低く、肉牛は一八四戸で一九九頭と一戸平均一・〇八頭で何れも零細で生産性は低い。然

し近年豚、鶏の企業的多頭化農家が散発してきたことは好ましいことである。

⑥林産
民有林は、八九五・五畝で一戸当り僅かに〇・九八畝で、山林依存の恩恵を有する農家は僅く一部分である。人工林は七五二畝で五五九・七八畝で一畝弱、新植は一四七戸で四〇・八七畝で一戸当り〇・二七畝と僅少である。山に居て山の恩恵に浴することの少ないことは何んとしても遺憾である。

国有林は、三一一畝で全町面積の二七割を占めており、今日まで幾多の利益を享受したわけである。然し近年営林署の経営の合理化と、代採林木が殆んど皆無に等しくなつたことなどからして国有林での事業は

漸減し、町民の労働市場が圧縮されつつあることは国有林事業に依存度が高かつただけにその打撃は大ききなものがある。労働力の転用を自家経営の中に見出す工夫と努力が肝要である。

⑦草地
草地は六一・七九畝で所有農家は一九七戸と一戸当りは極めて零細である。

⑧機械化
機械化ブームの例に漏れず、耕運機は凡そ三軒に一台の割合で導入され、これが代金の返済に際しなげればならない農家も多く、過剰投資による悪循環は否めぬ。之を総合すると、本町の農業は耕地面積の狭小が農業所得低下の最も大きな原因と考えられる。

漸減し、町民の労働市場が圧縮されつつあることは国有林事業に依存度が高かつただけにその打撃は大ききなものがある。労働力の転用を自家経営の中に見出す工夫と努力が肝要である。

⑨草地
草地は六一・七九畝で所有農家は一九七戸と一戸当りは極めて零細である。

⑩機械化
機械化ブームの例に漏れず、耕運機は凡そ三軒に一台の割合で導入され、これが代金の返済に際しなげればならない農家も多く、過剰投資による悪循環は否めぬ。之を総合すると、本町の農業は耕地面積の狭小が農業所得低下の最も大きな原因と考えられる。

合川町商業構造の特色と問題点

客層と買物動機

①合川町で買物をする顧客の半数が、特定商店を以て「買いよい」、気分がよい、一方残り半数は移動的客である。またこれを職業別顧客層から見ると、農民を主な相手とした店舗が最も多く全体の八一・五割を占め、サラリーマンを主要顧客とした店舗が一・六割を占めている。しかし駅前商店街では給与生活層を主な相手とした商店が全体の五〇割をしめ、農民相手の商店が三六・四割で、各地区部落商店や性格を異にしている。

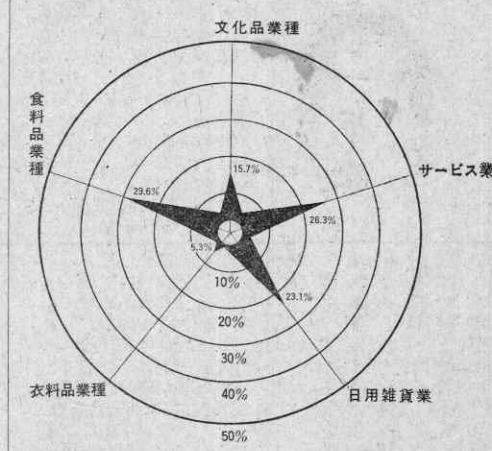
②これらの特定商店と結びついての固定客を中心とした買上動機をみると、全体の四一・二割が「顔なじみ」という人間関係による愛顧的動機に支えられていること。しかし同じく合川町民が薦業商店街で買物する場合、「商品豊富、値段が安い」という、いわゆる

合川町開発構想とその指針

土地利用再編成の基本と開発パターン(模型、型)をいふ。①本町分析の結果に基盤をおきながら、常に隣接するとの関連に比重をおき、さらに広域的立場から総合的に配慮したことであり、しかし、薦業をはじめとした広域的視野に立つとして

①水田開拓地区：大野台東部(七〇〇)八〇〇(畝)
②既存水田、有畜併用地区：増沢、羽根山、東根田、西根田、三木田を中心とする山村振興地区
③酪農開発地区：大野台西部(約一、〇〇〇)畝
④畜産(殺肉牛)育成地区：増沢、羽根山、東根田、西根田、三木田を中心とする山村振興地区

①水田開拓地区：大野台東部(七〇〇)八〇〇(畝)
②既存水田、有畜併用地区：増沢、羽根山、東根田、西根田、三木田を中心とする山村振興地区
③酪農開発地区：大野台西部(約一、〇〇〇)畝
④畜産(殺肉牛)育成地区：増沢、羽根山、東根田、西根田、三木田を中心とする山村振興地区

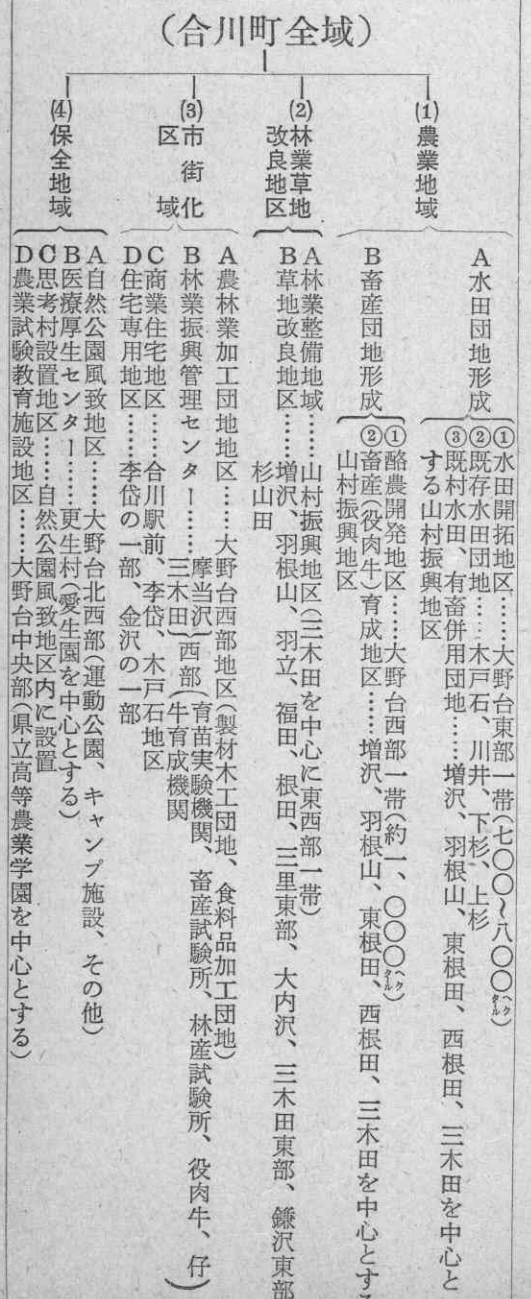


【開発利用が追究される大野台



合川町で買物をする顧客の半数が、特定商店を以て「買いよい」、気分がよい、一方残り半数は移動的客である。またこれを職業別顧客層から見ると、農民を主な相手とした店舗が最も多く全体の八一・五割を占め、サラリーマンを主要顧客とした店舗が一・六割を占めている。しかし駅前商店街では給与生活層を主な相手とした商店が全体の五〇割をしめ、農民相手の商店が三六・四割で、各地区部落商店や性格を異にしている。

②これらの特定商店と結びついての固定客を中心とした買上動機をみると、全体の四一・二割が「顔なじみ」という人間関係による愛顧的動機に支えられていること。しかし同じく合川町民が薦業商店街で買物する場合、「商品豊富、値段が安い」という、いわゆる



県が新年度調査に着手

本町の圃場整備事業

本町の圃場整備事業を促進するにあたって、受益者の皆さんに最も有利な県営整備事業として採択していただくために県や東北農政局など関係機関へ強力な陳情をつづけていたところ地元熱意にこたえて県が昭和四十二年度から二年計画のもとに調査を実施するための準備をすすめており、県営整備事業への第一歩をふみ出すことになった。

県営圃場整備事業の採択意と町の強力な要請に鑑み、推定し、決定機関である東北農政局 昭和四十二年度と四十三年 県営係長一行が、去る十月 度の二年計画で調査を完了 十九日、また十一月二十八 日には県耕地課調査係長が とのえつつあるのとこととで それぞれ来町し本町の圃場 立地状況を調査しました。 県としては地元農家の熱 意のうらやまを、県が百六十 万、地元も百六十二万 円となり、地元の負担 額は全額町費を考慮し農 業に負担にならないよう努力す ることになっている。

来春四月から県の技術職 員が派遣され調査が開始さ れることとなるが、調査地 域を水系ごとに区分され、町 とも考えられるので、町 としては、あくまでも総体的 な立場から小阿仁川水系 阿仁水系に区分することな

昭和四十二年調査費及び負担区分

種別	調査費		負担区分	
	調査費	負担区分	調査費	負担区分
圃場整備費	四〇〇町	三、六三五	一、八〇〇	九〇〇
調査費	四〇〇町	三、六三五	一、八〇〇	九〇〇
国庫負担	四〇〇町	三、六三五	一、八〇〇	九〇〇
以外調査費	四〇〇町	三、六三五	一、八〇〇	九〇〇
計	四〇〇町	三、六三五	一、八〇〇	九〇〇

採用社員を本社へ派遣

ライフルマン社

本町の誘致工場にきまっ 準備をすすめているが、合川 ライフルマン社(代表取締役 田代文弥)では、来 春四月操業をめぐりした準 備をすすめているが、合川 工場を秋田ライフルマン社 として操業することになり ました。この中堅社員を養成す るため男子二人、女子十六人計 十八人を採用したが、去る 十一月十九日埼玉県行田市 にある本社工場へ派遣した 今採用された人達は、来 春四月新しく操業される秋 田ライフルマン社の中堅社 員として活躍することにな が、技術習得に大きな期待 がよせられている。

成人該当の方々へ

公民館からお願い

次に掲げる方々は、来る 一月六日の成人式へ参加さ される該当者ですが、この成 人式には、昭和二十一年四 月二日から翌二十二年四月 一日までに生れた人達が参 加資格を有するもので、公 民館では住民票などの資料 によって名簿の下調べを行 ないました。

しかし、調査もれや転出 などによる不在者があるの ではないかと予想されます。 そこの、この名簿をご覧に なった該当者の皆さんは、 もちろん、家族や友人の方 でもお気づきの点がありま したらお手数でも保までご 連絡ください。

- 連絡先は、合川町公民館 (町教育委員会内、電話合 川局四番)です。
- より正確な「成人名簿」 によって該当者の皆さんが、 そろって参加できますよう 協力願います。
- 津幡多美子 吉田ツル 今 泉ユキ 小林節子
- △道城▽
△上杉▽
正田広 工藤清一 関清江
関正 正田俊昭 米倉道子
鈴木幸弘 工藤昭彦 足田 恵子 工藤チギ子 工藤義 弘
- △下杉▽
木村等 後藤長三郎 木村 ハチエ 木村アツ子 木村

- 五十一 桜井悦子
△桃栗▽
近藤ヒモ
△梅栗▽
大野キミ子 三浦フキ
- △金沢▽
山田昭一 竹沢竹志 金邦 夫 三浦肇子 池内誠 鎌 田征子 明石シジ子 小林 明男 中村幸子 佐藤恵子 長谷部敬子
- △弥栄▽
松岡ユミ子
△川井▽
佐藤トミ 今村政行 吉田 ノリ 佐藤長四郎 佐藤和 一郎 吉田昭治 吉田正子 佐藤節子 佐藤喜代見 吉 田幸義
- △駅前▽
名和民弥 桜井道子 吉田 茂子 佐藤和子 佐藤アヤ 子 斎藤仁志 桜田義明
- △八幡岱▽
木村 則子

- 相馬敬子 村岡イサ子 佐 藤キミ 相馬淑子 藤田綾 子 藤田節子 高橋正昭 高橋直子
- △木戸石▽
藤島逸子 佐藤善久男 沢 藤栄子 藤島和子 佐藤吉 広 藤島江子 山田正司 藤 島三和子 佐藤二男 佐 藤憲一 山田登 佐藤末伸 藤島あつ子 藤島勇一
- △美栄▽
斎藤辰美
- △増沢▽
加賀谷美和子 杉淵正国 杉淵博美
- △李岱▽
成田重一 成田リツ 木村 悦子 平川洋子 木村トヲ 木村アツ子 木村政子 木 村一 藤岡幸子 木村雅子 木村繁美 木村タツ子 成 田正美 成田優子 木村安 子 三浦時子 三浦ヒデ

- △新田目▽
斎藤賢一 斎藤エミ子 斎 藤久子 斎藤良子 安部京 子 安部静子
- △羽根山▽
松岡フミ 金田貞見 金田 弥一郎 松岡信吾 金田富 男 金田和子 松岡秀治
- △羽立▽
藤岡エミ 藤岡四郎
- △杉山田▽
伊藤金雄 杉淵忠夫 伊藤 金作
- △録沢▽
本間明徳 加藤三郎 御所 野弘一 福田アツ子 福田 京子 福田幸雄 御所野侃 福田直久 岸田美穂子
- △三木田▽
三浦昭子 三浦睦子 三浦 長一郎 三浦正信 三浦美 津子 三浦利正 三浦マキ 子 三浦時子 三浦ヒデ

- △摩当▽
松橋弘 松橋アキ子 金田 誠二
- △三里▽
松橋鉄郎 福岡信夫 福岡 ミツ子 松橋喜三郎 松橋 幸子 松橋ツナ 松橋克三
- △大内沢▽
成田良一 成田イサ子 成 田弘
- △芹沢▽
土濃塚美喜子 土濃塚孝子 土濃塚元昭 芹田京子 長 田吉次郎
- △東根田▽
佐藤知三郎 桜田良一 佐 藤桂子
- △西根田▽
金田エミ子 金森功



〔本社へ派遣された一行〕

母子健康センター

開設準備すすむ

町では、町立合川病院の を建築中ですが、工事が順 調にすすみ今月末には完工 の見込みである。

母子健康センターは妊産 婦や乳幼児の健康管理にあ るとともに助産が安い経 費で、衛生にできるよう に産婦の入院設備を完備す るとともに広く一般市民の 保健衛生に役立つように施 設され、町の保健総合セン ターとも言えるものである。

規模は木造モルタル、三 百平方メートル、五百七十 万の事業費で建設(駅前)が 工事にあたっており、新年 早々には開設できるように 準備がすすめられている。

商業の業種構成と問題点

① 合川町における集落構 成が各地に点在している ため、商店集团在地的に 構成され、消費者は分散的 に存在する最寄りのよろず 屋の商店で生活必需品を 購入し、その限りにおい て固定的顧客で生産的商 店が成り立っている。しか し、将来都市化が進んでく ると現況のような「離然に する品物の置場」的店舗に よる生業の経営は次第に斜陽 化するといえるまでもなく、 遂次生業の経営から脱 皮して企業経営の方向に転 じることが望まれる。

② これを業種構成からみ ると、全体的に衣料品業種 (五・三割)の著しい不足が 目立っており、この点から 衣料品店舗の増加ないしは 大型化、日用雑貨業種の衣 料品取扱いを兼営すること が望まれる。

また、食料品業種が二九 ・六割の最高を示すとい へ、これらは食料品専門店 ではなく、兼営的食料品店 が多いことである。その限 りにおいて、どの店にも同 じ品がわずかつおいてあ るという内職性を帯びてい る。この点から各地区の特 性を考え、食料品業種の比 率を減らすというよりも、 合同による大型化、あるいは スーパーなどによる近代 的総合食料品店化が望まれ る。

さらにサービス業種にお いては、むしろ同業過多 (二六・三割)の傾向を示し ながらもその内容は各部落に 散在する理容、美容店の多 いことがあげられ、一方飲 食、レジャーサービス業 種の不足がみられることと である。

要するに合川商店全体と して新商品の不足ないし欠 如がみられ、商品品種にお ける深みがなく、特ダネ的 な掘出物や特価品もこれら いうものがない。しかし一 応は間に合う程度の構成で

あるが、充分な満足を与え る買物は不可能である。こ れらがレジャー性の貧困と 相まって商業への依存性を 大ならしめ、購買力逃避の 原因をつくっている。

③、④、⑤略

⑥ 以上のごとき業種構成 を示す合川商業の年間売上 傾向をみると、繁閑度が著 しく十二月、八月、一月に 販賣増加が現われ、とくに 十二月には売上最多の店舗 が全体の二八・〇割を占め ていることである。これは 周辺農家の秋の収穫と冬を 控えての買物が多いたこと によると考えられるが、また 近年正月を控えて出稼者の 帰村による購買関係も手伝 っていると考えられる。

さらに八月に売上最多を 示す店舗が全体の二七・四 割を占めることは、お盆を 中心とした買物、夏の農閑 期による周辺農村からの来 街者の増加によるものとい えよう。一方三月、四月は 春を控えての買物、児童、 生徒の卒業、入学、進学、 就職などの季節に当り、こ れらの関連における売上増 加季節であるが、この期間 における売上増がみられな いことはそのとんどが商業 することが望まれる。

に流出していることを物語 っている。

したがって販賣高の伸び る季節に、これに対応した 商店街の販賣対策(共同 販賣事業、共同宣伝、サー ビス事業)を促進し、同時 に売上停滞期(とくに二月 六月)を克服する積極的対 策が要望されなければならない。

⑦ これらの諸点を背景と して最も重要なのは、商店 自体の共同性の問題である とくに現在の顧客の買物 傾向は、個々の商店の魅力 にひかれて買物をするとい うよりは、むしろ商店街が 全体として一つのまとまり 全体として一つのまとまり 控えての買物が多いたこと によると考えられるが、また 近年正月を控えて出稼者の 帰村による購買関係も手伝 っていると考えられる。

さらに八月に売上最多を 示す店舗が全体の二七・四 割を占めることは、お盆を 中心とした買物、夏の農閑 期による周辺農村からの来 街者の増加によるものとい えよう。一方三月、四月は 春を控えての買物、児童、 生徒の卒業、入学、進学、 就職などの季節に当り、こ れらの関連における売上増 加季節であるが、この期間 における売上増がみられな いことはそのとんどが商業 することが望まれる。

年賀郵便にご協力を

一町内各郵便局

郵便局の年末の郵便はほう大な量にふえ、とくに 十二月後半には、平常日の数倍の郵便物を取り 扱うこととなります。

このために施設を拡充強化し、万全を期すべく 努力しておりますが、円滑な運行を図るため次の 事から利用者の皆さんの理解と協力をお願い いたします。

年賀はがきは12月22日まで 年賀郵便物は、普通郵便物とは別に扱いますので 遠い地方へは、元日配達に間に合せるには12月15日からおそくとも 10月22日までには差し出していただくようお願い いたします。

あて名は正確に 年賀状のあて名は、とくに省略しがちですが、 毎年迷子郵便が相当数あります。都道府県名か ら番地〇〇方(特に未成年あてのもの)にご留意ま だ必ず記入ください。

